



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2016年5月23日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、5月25日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

## サノフィ、戦略的ロードマップ2020の実施に向け エグゼクティブ・コミッティーの変更を発表

フランス・パリ 2016年5月23日ーサノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディクール(M.D.)は本日、同社の戦略的ロードマップ 2020の実現に向け、エグゼクティブ・コミッティーに変更を加えたことを発表しました。

2016年6月1日より、サノフィのエグゼクティブ・コミッティー(議長:オリヴィエ・ブランディクール)の構成は次の通りとなります。

- **オリヴィエ・シャーマイユ (Olivier Charmeil)**: ジェネラルメディスンおよび新興市場担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネジャー\*
- **ジェローム・コンタミーヌ (Jérôme Contamine)**: エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高財務責任者
- **ピーター・ギュンター (Peter Guenter)**: 糖尿病および循環器担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネジャー\*
- **カールステン・ヘルマン (Carsten Hellmann)**: メリアル担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネジャー
- **カレン・リネハン (Karen Linehan)**: 法務担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルカウンセル
- **デイビッド・ロウ (David Loew)**: サノフィパスツール担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネジャー+
- **フィリップ・リュスカン (Philippe Luscan)**: グローバル生産担当エグゼクティブ・バイスプレジデント
- **ムザミル・マンズリ (Muzammil Mansuri, Ph.D.)**: 戦略・事業開発担当エグゼクティブ・バイスプレジデント
- **デイビッド・ミーカー (David Meeker, MD)**: サノフィジェンザイム担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネジャー
- **アミート・ナスワニ (Ameet Nathwani, MD)**: メディカルアフェアーズ担当エグゼクティブ・バイスプレジデント
- **ロベルト・プッチ (Roberto Pucci)**: 人事担当エグゼクティブ・バイスプレジデント
- **エリアス・ザフーニ (Elias Zerhouni, MD)**: グローバル研究開発担当プレジデント

\*エグゼクティブ・コミッティーの現メンバーの役職変更

+エグゼクティブ・コミッティーの新メンバー

### サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー  
www.sanofi.co.jp



また、サノフィは、糖尿病および循環器担当エグゼクティブ・バイスプレジデントのパスカル・ウィッツ (Pascale Witz) が 6 月 1 日付で退社することを発表しました。パスカル・ウィッツは、2013 年 7 月入社以来、患者を中心とした総合医療のアプローチをサノフィの事業に取り組む活動を率いてきました。また重要な戦略的提携にも指導力を発揮、Verily Life Sciences (Google の子会社) や Hanmi Pharmaceuticals との契約締結などに大きく貢献しました。

メリアル担当エグゼクティブ・バイスプレジデントのカールステン・ヘルマン (Carsten Hellmann) は、このほど ALK のプレジデント兼 CEO に着任することを承諾しましたが、2016 年まではサノフィにて活動を継続し、ベーリンガーインゲルハイムとの戦略的事業交換プロジェクトを進める予定です。

エグゼクティブ・コミッティーの一員となるコンシューマーヘルスケア (CHC) 担当エグゼクティブ・バイスプレジデントの人事は後日発表します。同メンバーは、2015 年 12 月に発表したサノフィの動物医薬品事業とベーリンガーインゲルハイムのコンシューマーヘルスケア (CHC) 事業との事業交換の完了後に新設する CHC グローバルビジネスユニットを率います。事業交換が成立すれば、サノフィは CHC におけるグローバルリーダー企業となります。

渉外担当エグゼクティブ・バイスプレジデントのスレシュ・クマール (Suresh Kumar) は、一身上の都合で米国に帰国することになりました。米国の事業環境は厳しく、政府指導者が近く替わる予定であることから、同氏は、引き続き本年末まで、米国においてサノフィのための活動を継続して行うことに同意しています。オリヴィエ・ブランディクールは、同氏の後任の決定まで渉外担当ヘッドを代行します。

## サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。5 つのグローバルビジネスユニット(糖尿病と循環器領域、ジェネラルメディスンと新興市場、サノフィジェンザイム、サノフィパスツール、メリアル)で組織され、パリ(EURONEXT: SAN)およびニューヨーク(NYSE: SNY)に上場しています。

## 今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減イニシアチブとその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2015 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。